

三保地域の地域活動の調査と課題の考察

静岡大学 増田 彩香

三保地域の課題

松枯れ病によるマツの減少

名勝地面積当たりの伐採本数
1536本 (平成26年)

→マツの幹幅確保のための間伐
→線虫により弱った松の伐採



保全

観光客の減少
保全との両立



観光

減少に伴う諸課題

- 松原保全
- 伝統文化の維持
- 自治会活動の維持
- 産業維持



人口

三保地域で活動して感じること

結構沢山の活動団体があるのに似たような団体が有ったり参加者が分散するのに、何故か同日開催してたりするなあ。

連携できていないのでは？

三保松原

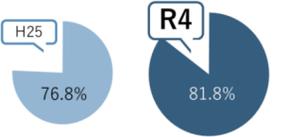
地域団体の維持・継続

保全 観光 人口

- ◆多岐に渡る課題に一つの組織、個人では対応しきれない
- ◆ノウハウ、情報を共有する事で活動を研磨していくことが可能になる

静岡市

市として守るべき資産の維持・保全



三保松原を「国内外に誇れるもの」だと感じる割合

調査題目

三保地域の地域活動の調査と課題の考察

三保半島 (折戸地域より半島側)

発展への障壁

経済活動、営利活動、非営利活動、学習活動等の三保地域を活用した人々の営み且つ、三保地域の発展(維持・保全)に寄与することを前提としている活動

調査対象

三保地域の地域活動団体
本論の役割

三保地域の地域活動団体の継続と維持を支え、三保地域の保全・維持の一助となること

調査結果

手法

質問票調査

(必要に応じてインタビュー)

制作過程

- ① 草案作成
- ② 【民間】(株)Otono青木氏、【大学】県立大学鈴木教授から意見を募りブラッシュアップ
- ③ フィードバックをもとに修正
- ④ 配布
- ⑤ 回収・集計

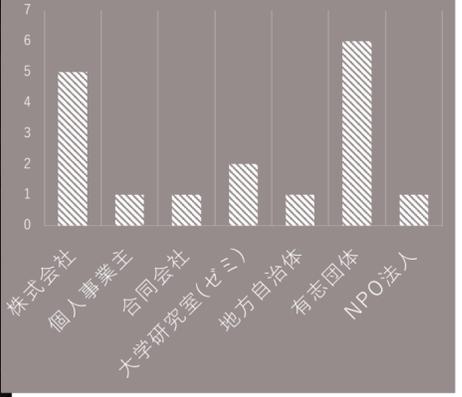
設問

回答者の個人情報
会社、団体の情報
活動のきっかけ(記述)
三保地域で事業・活動を行う中でのメリット、デメリット
三保地域の資源(宝)だと感じるもの
団体間の連携について(選択・記述)等15の設問

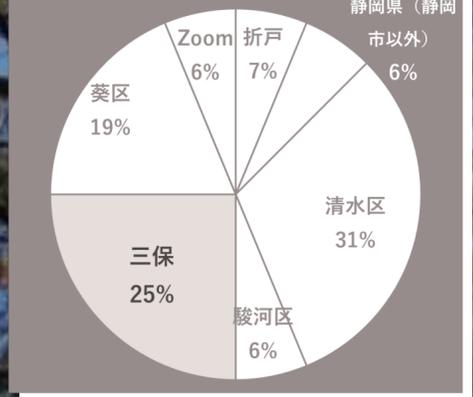
協力者

三保地域で活動する**16**団体

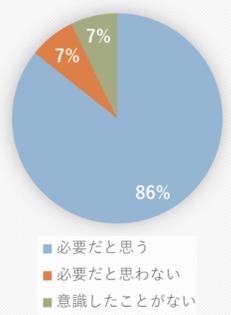
設立形式



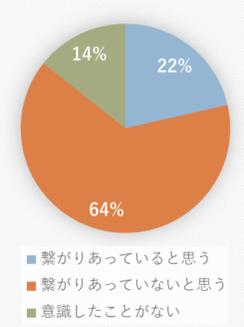
登記簿上の住所



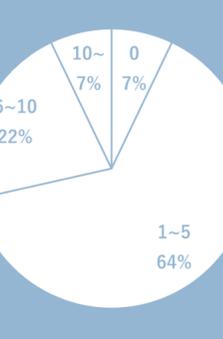
三保地域の発展のために地域団体同士のつながりが必要だと思うか



実際に団体同士が連携していると感じるか



連携したことがある団体の数



記述回答より抜粋

お互いの活動について理解を深めることで、いくつかの活動が有機的につながることを期待します。

名称を知る団体が幾つかある程度

十分な情報共有がされていない
=似たような取組も多い

よりお互いを知り、お互いを支えることで、お互いの活動が活性化につながるため

結論：三保地域の課題

互いの活動の「認知」の不足

提案：互いを知る機会の創出

三保松原フューチャーセンター ※今は休止中。再開には準備が必要

論文へのフィードバックより

アダプト区やフューチャーセンターなど一歩ずつでもできることがありそうだね。他の活動団体の人と話してみんなほんとは対話が必要としているはずだと感じたよ。(中略) 三保のオフィスの空きスペースの活用を考えてるから今度ディスカッションしたいね

その問題点を改善しようと思ひ三保で活動するすべての団体を集めて松原の現状を知っていただく機会を設けようと思ひます。またこちらからお願いすることがあると思ひますがよろしく願ひします。(三保フューチャーセンター立ち上げメンバー)

スペース◎

当事者の声◎

企画◎

みほ暮らし

毎月三保の活動団体を紹介し、各団体に配布

三保コミュニティデザインLaboって？

「三保のつながりをデザインする」を合言葉に三保のことが大好きなメンバーでマルシェの運営や情報紙の発行をしています。

松葉通貨って？

美しい松原の維持には松葉置きをして松に通した環境を整えることが不可欠です。みほるべ土曜市場では松原を偲ます松葉や雑草を通貨に換えてお買い物をしています。

- 01 主催ブースで受付を行いごみ袋を受け取ってください
- 02 スタッフの指示に従って松葉置きか雑草取りをしてください
- 03 受付でいっぱいになったごみ袋をお渡しください。ごみ袋1つとスタンプ1つが交換できます。スタンプを6つ集めると300円分のマルシェの商品券として使ってください。

つなごるみほ

配布先

- 三保第一小学校
- 三保第二小学校
- 東海大学付属翔洋小学校
- 三保こども園

+
三保の活動団体